

山田学区

社協だより

第 52 号

発行
山田学区
社会福祉協議会



ご挨拶

会長 中島 四郎

山田学区の皆さまには、日頃より学区社会福祉協議会の諸活動に多大のご理解と、お力添えをいただき、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

今年度も六月には戦没者追悼式、九月には敬老会を武道館で開催いたしました。また毎年開催いたしておりますお一人暮らしの日帰りバス旅行には、四十余名の参加をいただきました。

草津市の福祉バスを利用し、高月町の「北近江の湯」に行つてまいりました。日頃は、お一人で過ごしておられる皆さんも、行き帰りの車中でのお話もはずみ、和気あいあいの中、準備をしていただいたお料理に堪能していただきました。その後、入浴をする人、お買い物をする人など、思い思いに過ごしていただきました。

私たちの山田学区は、人々とのつながりが濃密で、昔ながらの風習が、色濃く残っている地域でもあります。

そのよい所を育みながら、今後ふれあいの輪が広がり、居心地のよい場所づくりを築いていきますよう取り組んでまいりたいと思います。

地域の皆さまのご支援のほどお願い申し上げます。

平成二十年度 山田学区 平和祈念戦没者追悼式開催

去る六月十五日(日)、山田市民センターにおいて、山田学区平和祈念戦没者追悼式が厳粛に執り行われました。



ご遺族をはじめ、ご来賓、一般参列者の皆さまにお参りを頂き、誠にありがとうございました。

戦後すでに半世紀以上を過ぎ、ご遺族の方々も高齢となられ、過去の悲惨な戦争は風化されつつあります。

このような悲劇を二度と

敬老会

今年も敬老の日の九月十五日、山田学区の敬老祝賀式を開催いたしました。この日への御招待状をお送りいたしました七十歳以上の方は、一三五七名と過去最大となり、約四〇〇名の方にご出席いただきました。

お招きしました皆様方は七十年以上もの長い人生の中で、青年期はちょうど戦争とその直後の混乱期にあたり、大変な努力で乗り越えられ、今日の繁栄と平和を築いていただきました。



この敬老祝賀会は、そういった大先輩の皆様方への感謝の気持ちを捧げる機会とさせていただきます。

式典には、山岡副市長様をはじめ多数のご来賓列席のもと、盛大に執り行われますとともに、多くのかたから、お祝いの電報やメッセージをいただきました。

アトラクションでは、滋賀県警の女性警官によります「高齢者の交通安全について」の寸劇での交通安全教室を開催しました。これはなかなか好評でございました。

また、山田幼稚園児によ

ります、スポレク参加のための3B体操をプレ公演していただき、この時間だけは、園児のご両親も多数参観いただくとともに、お年寄りたちも目を丸めて演技に見入っておられました。小学校の児童によりますお祝いの作文披露もありました。

このほか、学区の皆様による舞踊や江州音頭などの演技発表をご覧頂きました。

ご招待申しあげました皆様方には、ご自分の健康にご留意いただき、気持ちを若々しく保って頂くとともに、貴重な人生体験を私達の社協活動に対する助言として頂戴できれば幸いと存じます。

なお、本日の敬老祝賀会開催のため、ご協力いただきました学区諸団体の方々には、一五四名にもおよび皆様方に心からお礼を申し上げます。また、準備いただきました役員のみなさまありがとうございました。

山田学区 地域福祉懇談会の開催

今年十一月十四日(金)午後七時より山田市民センターで開催いたしました。

地域福祉懇談会は、第三回となり学区社会福祉協議会が主催し、草津市と市社会福祉協議会が共催となっています。

今年の話し合いのテーマは、前回でも隣近所の連携の大切さが理解されてきたものですが、その取組をより確実にする意味においても、再度同じテーマで話し合うことといたしました。

まず、湖南広域行政組合西消防署より防災講話をいただきました。

非常時には、まず自分の身を守ることを、特に落下物から頭部を守ること。それに非常用のホイッスルを準備することが必要である。

中越地震の現場を見たことを例として、特に被災者

と話をするだけで、勇気を持ってもらえ、訪問者もまた勇気をもらえるとのことでした。

草津市の消防職員の方で、草津市民十二万人を必死で守りますが、やはり限度があり、隣近所の助け合いが必要であるとのことでした。

その後、3グループに分かれ、ワークショップ方式



による話し合いを行いました。それぞれ活発にグループ討議が行われ、話し合いの成果が発表されました。その概要を次のようにまとめました。

●山田地域は流動化が起きやすい地域である。との話から阪神淡路の震災の時には「燈籠」がたくさんひっくり返った。その七割は、浜街道から琵琶湖側で起こり、特に地盤が弱いと思われる。そのことを忘れずに、非常時にはまず自分の身を守ることが大切である。また、すでにスリッパ、非常用頭巾を確保されている方もおり、それを利用して、まずどこへ避難するかが話し合いとなりました。すでに町内会で、非常時の集合場所が決まっております、そこで氏名などを確認の上、広域避難場所へまとまって移動する、など紹介がありました。

●また広域避難場所へ移動のあと、各自治会単位で



できるだけ、スムーズに確認できることが重要で、やはり年令、特徴などリストの作成も必要ではないかということでした。もちろんこれには、この主旨を説明し、必ず本人の同意を取ることが必要である、ということでした。

●自分の身を守り、あと何か出来るかを考えると、信頼される関係の中で、助け合いが必要である。また、隣近所の高齢者の方にも、あたたかい気持ち忘れず接することができるように、日頃のお

付き合いを大切にしないといけない、意見が出されました。

最後に、草津市・草津市社協を代表して、社会福祉推進課、西参事様より、

地震等非常災害時の対応として、①備え ②訓練 ③地域の力が必要。

①備え…戸棚やタンスの転倒防止を取り付ける、枕元にスリッパや頭巾を置く、非常持ち出し袋を準備しておくことなど。

②訓練…防災訓練とか、災害机上訓練(DIG研修など)

③地域の力…ご近所の底力、隣近所の助け合いの精神

を忘れないことが、大切であるとまとめていただきました。

今後も防災についての知識と理解が深められていくのではないかと思っております。

山田ふれあいまつり

10月25日～26日開催

山田学区ふれあい祭りは、10月25日、山田小学校の音楽祭を皮切りに始まり、26日は山田市民センター・山田幼稚園の二つの会場で盛大に行われました。学区社会福祉協議会では、「赤い羽根共同募金」を実施し、多くの皆様の暖かいお気持ちを募金箱に頂戴いたしました。

お寄せいただきました12,722円は草津市社会福祉協議会を通じ、滋賀県の共同募金会へ収めさせていただきました。ありがとうございました。



計報

当山田学区社会福祉協議会の副会長古川久夫様が去る九月にご逝去されました。山田学区老人クラブ連合会を代表して、当会の運営発展にご尽力をいただきました。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

山田学区福祉委員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-------|-----|-----|-------|------|----|------|----|-------|----|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|------|-------|-------|
| 北山田 | 横江豊之 | 南山田 | 中島健一 | 五ノ条 | 平井三郎 | 山田憲治 | 山本捨次 | 南岡園田 | 矢野早苗 | 不動浜 | 久泉由紀子 | 新南浜 | 渡辺清 | 南山田団地 | 菊池康則 | 御倉 | 齊藤勝彦 | 木川 | 西本二二義 | 御倉 | 柴田良弘 | 新出屋敷 | 堀井巧 | 山中秋夫 | 山中久代 | 陽の丘 | 井上政江 | 三ツ池 | 太田久子 | 出屋敷団地 | 浅田健士茂 |
|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|------|------|-----|-------|-----|-----|-------|------|----|------|----|-------|----|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|------|-------|-------|

編集後記

風邪の季節がやってきました。新型インフルエンザのニュースも気になります。外出から帰ったあとの“うがい”と“手洗い”をしつかりして予防につとめたいですね。